



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 ニシオホールディングス株式会社
コード番号 9699 URL <https://nishio-grp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (管理部門担当)
定時株主総会開催予定日 2024年12月19日
有価証券報告書提出予定日 2024年12月20日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(氏名) 西尾 公志
(氏名) 四元 一夫 TEL 06 (6251) 7302
配当支払開始予定日 2024年12月20日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年9月期 | 198,995 | 7.2 | 18,044 | 10.4 | 17,400 | 11.0 | 11,599 | 12.8 |
| 2023年9月期 | 185,660 | 8.8 | 16,337 | 9.8 | 15,679 | 9.6 | 10,286 | 12.2 |

(注) 包括利益 2024年9月期 13,572百万円 (19.3%) 2023年9月期 11,380百万円 (4.1%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年9月期 | 417.81 | 417.67 | 9.1 | 6.2 | 9.1 |
| 2023年9月期 | 370.59 | 370.44 | 8.7 | 5.9 | 8.8 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年9月期 | 290,682 | 134,311 | 45.5 | 4,760.00 |
| 2023年9月期 | 272,569 | 124,397 | 44.8 | 4,402.94 |

(参考) 自己資本 2024年9月期 132,146百万円 2023年9月期 122,230百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年9月期 | 29,552 | △9,392 | △13,502 | 49,612 |
| 2023年9月期 | 24,406 | △11,787 | △17,695 | 42,828 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------------|-----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| 2023年9月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2024年9月期 | — | 0.00 | — | 112.00 | 112.00 | 3,109 | 30.2 | 2.6 |
| 2025年9月期 (予想) | — | 0.00 | — | 126.00 | 126.00 | 3,498 | 30.2 | 2.8 |
| | — | 0.00 | — | 128.00 | 128.00 | | 30.1 | |

3. 2025年9月期の連結業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 (累計) | 107,030 | 5.5 | 10,488 | 2.0 | 10,160 | 2.1 | 6,585 | 2.9 | 237.20 |
| 通期 | 208,000 | 4.5 | 18,550 | 2.8 | 17,800 | 2.3 | 11,800 | 1.7 | 425.04 |

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2024年9月期 | 28,391,464株 | 2023年9月期 | 28,391,464株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年9月期 | 629,518株 | 2023年9月期 | 630,380株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年9月期 | 27,761,757株 | 2023年9月期 | 27,758,771株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信 [添付資料] 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| 連結損益計算書 | 6 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報) | 14 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善が続くなか、設備投資も底堅く推移しましたが、資源価格の高騰や運送業界の2024年問題、為替の不安定な動き等の懸念材料もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界においては、都市部の再開発を中心とした民間建築需要に伴い設備工事が活況であった他、高速道路の補修・メンテナンス工事、鉄道の新設・改良工事等が引き続き堅調でした。大阪・関西万博関連では、大屋根リングが完成し、会場や交通インフラ等の土木工事も順調に進むなか、遅れが問題となっている海外パビリオンも順次着工しております。

このような状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、中期経営計画“Next Stage 2026”の初年度においては、建設ロジスティックスの実証実験や仮設のチカラのノウハウ蓄積等、事業化のための基盤づくりに取り組んでおります。

その結果、連結売上高は198,995百万円（前年同期比107.2%）、営業利益18,044百万円（同110.4%）、経常利益17,400百万円（同111.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益11,599百万円（同112.8%）となりました。また、EBITDAは56,460百万円（同106.2%）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(イ) レンタル関連事業

道路・土木関連分野では、i-Constructionの取組みが浸透したことにより、ICTを活用した舗装修繕工事が数多く行われただけでなく、施工時期の平準化は年間を通して安定的な売上につながりました。また、駅改良、路線延伸等の鉄道関連工事が堅調な他、エレクター付吹付機が差別化商品となり、山岳トンネル工事の受注を伸ばしました。

建築・設備関連分野では、都市部の再開発や各地の工場、物流倉庫建設が活況ななか、現場の大型化や人手不足等の対策として、自動墨出しロボットシステムをはじめとしたDX商品による効率化の提案が受注拡大に貢献しました。また、交通インフラの補修・メンテナンス工事や既存プラント設備の点検・定期修繕の需要が堅調で、安全対策商品や汎用機の売上を伸ばしました。

イベント分野では、音楽やスポーツイベント、展示会等を数多く対応する一方で、都市再開発時の暫定利用地における賑わいづくりのサポートが、ノウハウの蓄積やユーザー層の拡大につながった他、安定した売上確保のため、各地のアリーナの施設管理をレンタルでサポートする取組みにも注力しております。

大阪・関西万博関連では、企業・海外パビリオン建設で高所作業機や汎用機等が活躍している他、木造モジュールを活用したパビリオンの工事も進捗しております。

その結果、売上高191,440百万円（前年同期比107.2%）、営業利益17,205百万円（同112.0%）となりました。

(ロ) その他

海外製建機の販売が引き続き売上を牽引し、売上高は7,555百万円（前年同期比107.5%）となったものの、営業利益458百万円（同80.5%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、290,682百万円と対前年同期比で106.6%、18,113百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の増加6,783百万円、商品及び製品の増加1,018百万円、貸与資産の増加3,856百万円及び建物及び構築物の増加6,466百万円、並びに建設仮勘定の減少2,382百万円であります。

負債合計は156,370百万円と、対前年同期比で105.5%、8,198百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加2,496百万円、未払法人税等の増加1,160百万円、流動負債・その他に含まれる未払消費税等の増加1,231百万円及び長期借入金の増加3,484百万円であります。

純資産合計は134,311百万円と、対前年同期比で108.0%、9,914百万円の増加となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは29,552百万円の収入（前年同期は24,406百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益17,572百万円の他、減価償却費33,418百万円、賃貸資産の取得による支出23,344百万円及び法人税等の支払額5,585百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは9,392百万円の支出（前年同期は11,787百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8,081百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは13,502百万円の支出（前年同期は17,695百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入11,128百万円に対し、有利子負債の返済による支出21,627百万円及び配当金の支払額3,109百万円が上回ったことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末に比べ6,783百万円増加して49,612百万円となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、都市部の再開発工事や各地の物流倉庫、工場等の新設工事、交通インフラの補修・メンテナンス工事が継続する他、防衛関連予算等による公共工事も見込まれます。また、イベント分野では引き続き音楽イベントや展示会等多くの案件が開催されることが予想されます。2025年4月に開幕予定の大阪・関西万博では、関連工事が最盛期を迎える他、イベント分野において木造パビリオンや各種イベント商材の売上も見込んでおります。

以上を前提として、2025年9月期の連結業績予想の見通しは以下のとおり予想しております。

| | | |
|-----------------|------------|----------------|
| 売上高 | 208,000百万円 | （前年同期比 104.5%） |
| 営業利益 | 18,550百万円 | （前年同期比 102.8%） |
| 経常利益 | 17,800百万円 | （前年同期比 102.3%） |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 11,800百万円 | （前年同期比 101.7%） |

また、当社グループが新たに策定した中期経営計画“Next Stage 2026”では、PBRの改善に向け、コア事業である国内建機レンタル事業を新たな成長事業にするため、「建設ロジスティクス」・「仮設のチカラ」を確立する他、DXを活用して建設業界の生産性向上をサポートしてまいります。

（注）中期経営計画の概要につきましては、2023年11月10日公表の「「中期経営計画」（2024年9月期～2026年9月期）策定のお知らせ」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当面は日本基準で財務諸表を作成し、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年9月30日) | 当連結会計年度 (2024年9月30日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 43,038 | 49,822 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 46,646 | 46,657 |
| リース投資資産 | 14 | 8 |
| 商品及び製品 | 4,046 | 5,065 |
| 仕掛品 | 1,173 | 1,299 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,571 | 1,793 |
| その他 | 10,053 | 9,169 |
| 貸倒引当金 | △1,029 | △1,083 |
| 流動資産合計 | 105,515 | 112,732 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸与資産(純額) | 84,999 | 88,855 |
| 建物及び構築物(純額) | 22,397 | 28,863 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,212 | 2,534 |
| 土地 | 36,658 | 37,365 |
| リース資産(純額) | 3,273 | 3,609 |
| 建設仮勘定 | 5,215 | 2,832 |
| その他(純額) | 806 | 935 |
| 有形固定資産合計 | 155,562 | 164,996 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,247 | 1,017 |
| その他 | 1,819 | 1,643 |
| 無形固定資産合計 | 3,067 | 2,660 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,551 | 2,753 |
| 長期貸付金 | 37 | 536 |
| 繰延税金資産 | 2,294 | 2,973 |
| その他 | 3,904 | 4,390 |
| 貸倒引当金 | △365 | △362 |
| 投資その他の資産合計 | 8,423 | 10,291 |
| 固定資産合計 | 167,053 | 177,949 |
| 資産合計 | 272,569 | 290,682 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年9月30日) | 当連結会計年度 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 23,993 | 26,489 |
| 短期借入金 | 5,403 | 5,526 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 8,036 | 10,727 |
| 1年内償還予定の社債 | 150 | 150 |
| リース債務 | 13,711 | 13,163 |
| 未払法人税等 | 3,311 | 4,472 |
| 賞与引当金 | 2,537 | 3,154 |
| 役員賞与引当金 | 164 | 216 |
| 設備関係未払金 | 11,068 | 10,204 |
| その他 | 10,536 | 12,523 |
| 流動負債合計 | 78,911 | 86,629 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 675 | 525 |
| 長期借入金 | 37,937 | 38,730 |
| リース債務 | 26,432 | 26,391 |
| 繰延税金負債 | 575 | 751 |
| 役員退職慰労引当金 | 297 | 257 |
| 退職給付に係る負債 | 918 | 996 |
| 資産除去債務 | 1,043 | 1,096 |
| その他 | 1,379 | 992 |
| 固定負債合計 | 69,259 | 69,741 |
| 負債合計 | 148,171 | 156,370 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,100 | 8,100 |
| 資本剰余金 | 7,481 | 7,131 |
| 利益剰余金 | 106,024 | 114,514 |
| 自己株式 | △1,883 | △1,881 |
| 株主資本合計 | 119,723 | 127,865 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 398 | 465 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | 2,103 | 3,814 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,507 | 4,281 |
| 新株予約権 | 10 | 10 |
| 非支配株主持分 | 2,156 | 2,153 |
| 純資産合計 | 124,397 | 134,311 |
| 負債純資産合計 | 272,569 | 290,682 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 貸貸収入 | 152,593 | 163,661 |
| 商品及び製品売上高 | 33,067 | 35,334 |
| 売上高合計 | 185,660 | 198,995 |
| 売上原価 | | |
| 貸貸原価 | 88,709 | 94,355 |
| 商品及び製品売上原価 | 22,769 | 23,741 |
| 売上原価合計 | 111,479 | 118,097 |
| 売上総利益 | 74,181 | 80,897 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 295 | 228 |
| 給料及び賞与 | 21,566 | 23,035 |
| 賞与引当金繰入額 | 2,451 | 3,033 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 165 | 214 |
| 退職給付費用 | 750 | 811 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 41 | 38 |
| 減価償却費 | 3,543 | 4,061 |
| 保険料 | 2,926 | 3,251 |
| 賃借料 | 6,320 | 6,712 |
| のれん償却額 | 473 | 339 |
| その他 | 19,308 | 21,125 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 57,844 | 62,852 |
| 営業利益 | 16,337 | 18,044 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 84 | 93 |
| 受取配当金 | 224 | 59 |
| 受取保険金 | 123 | 133 |
| 補助金収入 | 13 | 137 |
| スクラップ売却益 | 97 | 139 |
| その他 | 462 | 494 |
| 営業外収益合計 | 1,004 | 1,057 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,389 | 1,542 |
| 為替差損 | 174 | 70 |
| その他 | 98 | 88 |
| 営業外費用合計 | 1,662 | 1,702 |
| 経常利益 | 15,679 | 17,400 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 32 | 58 |
| 投資有価証券売却益 | 157 | 441 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 12 |
| 特別利益合計 | 190 | 512 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 155 | 191 |
| 投資有価証券売却損 | — | 4 |
| 関係会社株式評価損 | — | 129 |
| 抱合せ株式消滅差損 | — | 15 |
| 特別損失合計 | 155 | 340 |
| 税金等調整前当期純利益 | 15,715 | 17,572 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,437 | 6,427 |
| 法人税等調整額 | △232 | △560 |
| 法人税等合計 | 5,205 | 5,866 |
| 当期純利益 | 10,509 | 11,705 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 222 | 106 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 10,286 | 11,599 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 当期純利益 | 10,509 | 11,705 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 121 | 67 |
| 繰延ヘッジ損益 | △12 | △4 |
| 為替換算調整勘定 | 762 | 1,803 |
| その他の包括利益合計 | 870 | 1,866 |
| 包括利益 | 11,380 | 13,572 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 11,112 | 13,373 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 268 | 199 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,100 | 8,165 | 98,512 | △1,903 | 112,875 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,775 | | △2,775 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 10,286 | | 10,286 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | △9 | | 20 | 10 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | △674 | | | △674 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | — |
| 当期変動額合計 | — | △683 | 7,511 | 19 | 6,847 |
| 当期末残高 | 8,100 | 7,481 | 106,024 | △1,883 | 119,723 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|---------|----------|---------------|-------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 277 | 17 | 1,386 | 1,681 | 16 | 2,204 | 116,778 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | — | | | △2,775 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | — | | | 10,286 |
| 自己株式の取得 | | | | — | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | — | | | 10 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | — | | | △674 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 121 | △12 | 716 | 825 | △6 | △48 | 771 |
| 当期変動額合計 | 121 | △12 | 716 | 825 | △6 | △48 | 7,619 |
| 当期末残高 | 398 | 5 | 2,103 | 2,507 | 10 | 2,156 | 124,397 |

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,100 | 7,481 | 106,024 | △1,883 | 119,723 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △3,109 | | △3,109 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 11,599 | | 11,599 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 2 | 3 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | △350 | | | △350 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | — |
| 当期変動額合計 | — | △349 | 8,489 | 2 | 8,142 |
| 当期末残高 | 8,100 | 7,131 | 114,514 | △1,881 | 127,865 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|--------------|---------|----------|---------------|-------|---------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 398 | 5 | 2,103 | 2,507 | 10 | 2,156 | 124,397 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | — | | | △3,109 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | — | | | 11,599 |
| 自己株式の取得 | | | | — | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | — | | | 3 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | — | | | △350 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 67 | △4 | 1,710 | 1,773 | | △2 | 1,771 |
| 当期変動額合計 | 67 | △4 | 1,710 | 1,773 | — | △2 | 9,914 |
| 当期末残高 | 465 | 1 | 3,814 | 4,281 | 10 | 2,153 | 134,311 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 15,715 | 17,572 |
| 減価償却費 | 31,573 | 33,418 |
| のれん償却額 | 473 | 339 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 143 | △6 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 116 | 612 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 21 | 52 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 66 | 71 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 34 | △40 |
| 受取利息及び受取配当金 | △308 | △153 |
| 支払利息 | 1,389 | 1,542 |
| 抱合せ株式消滅差損益 (△は益) | — | 15 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △157 | △437 |
| 関係会社株式評価損 | — | 129 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 122 | 132 |
| 賃貸資産の売却による原価振替高 | 693 | 1,612 |
| 賃貸資産の取得による支出 | △18,235 | △23,344 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △3,631 | 538 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △497 | △1,162 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,471 | 2,401 |
| その他 | 1,313 | 3,201 |
| 小計 | 30,303 | 36,495 |
| 利息及び配当金の受取額 | 269 | 189 |
| 利息の支払額 | △1,459 | △1,547 |
| 法人税等の支払額 | △4,708 | △5,585 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 24,406 | 29,552 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △210 | △210 |
| 定期預金の払戻による収入 | 210 | 210 |
| 短期貸付金の増減額 (△は増加) | △401 | △211 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11,499 | △8,081 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 54 | 81 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △350 | △289 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △111 | △20 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 226 | 562 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △192 | △335 |
| 長期貸付けによる支出 | △41 | △580 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 3 | 46 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △152 | △655 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 676 | 94 |
| その他 | △0 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △11,787 | △9,392 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) |
|----------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | △30 | 194 |
| 長期借入れによる収入 | 9,374 | 11,128 |
| 長期借入金の返済による支出 | △9,529 | △8,698 |
| 社債の償還による支出 | △150 | △150 |
| リース債務の返済による支出 | △13,094 | △12,749 |
| 割賦債務の返済による支出 | △27 | △29 |
| 配当金の支払額 | △2,775 | △3,109 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △44 | △88 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △1,417 | — |
| その他 | △0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △17,695 | △13,502 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △4,657 | 6,777 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 47,485 | 42,828 |
| 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 6 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 42,828 | 49,612 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、建設・設備工事用機器及びイベント用機器のレンタルを中心に関連する事業を行っており、「レンタル関連事業」を報告セグメントとしております。

「レンタル関連事業」は、建設・設備工事用機器、軌道工事用機器、汚染土壌・汚染水処理設備、泥濁水処理設備、トンネル・ダム工事用機械、イベント用機器、撮影用小道具等のレンタル、工事用電気設備工事、電気配線工事、建設工事用機械のオペレーション業務の請負及び運送事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

| | 報告 セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------------|--------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | レンタル関連 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 178,631 | 7,029 | 185,660 | — | 185,660 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 57 | 1,006 | 1,063 | △1,063 | — |
| 計 | 178,689 | 8,035 | 186,724 | △1,063 | 185,660 |
| セグメント利益 | 15,361 | 569 | 15,930 | 407 | 16,337 |
| セグメント資産 | 251,072 | 7,900 | 258,972 | 13,596 | 272,569 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 31,427 | 137 | 31,564 | 8 | 31,573 |
| のれんの償却額 | 473 | — | 473 | — | 473 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 46,174 | 83 | 46,257 | 16 | 46,274 |

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外製建機の輸入販売、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額407百万円には、セグメント間取引消去313百万円及び各報告セグメントに配分していない全社収益及び費用93百万円が含まれております。全社収益は、報告セグメントに帰属しない収益であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額13,596百万円には、セグメント間取引消去△103,655百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産117,251百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額8百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16百万円は、特定のセグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

| | 報告 セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------------|--------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | レンタル関連 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 191,440 | 7,555 | 198,995 | — | 198,995 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 57 | 527 | 584 | △584 | — |
| 計 | 191,498 | 8,082 | 199,580 | △584 | 198,995 |
| セグメント利益 | 17,205 | 458 | 17,663 | 381 | 18,044 |
| セグメント資産 | 265,195 | 8,892 | 274,087 | 16,594 | 290,682 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 33,276 | 131 | 33,408 | 10 | 33,418 |
| のれんの償却額 | 339 | — | 339 | — | 339 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 44,453 | 143 | 44,597 | 9 | 44,606 |

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外製建機の輸入販売、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額381百万円には、セグメント間取引消去△1,004百万円及び各報告セグメントに配分していない全社収益及び費用1,385百万円が含まれております。全社収益は、報告セグメントに帰属しない収益であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額16,594百万円には、セグメント間取引消去△103,003百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産119,598百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額10百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9百万円は、特定のセグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 4,402円94銭 | 4,760円00銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 370円59銭 | 417円81銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 370円44銭 | 417円67銭 |

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 10,286 | 11,599 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(百万円) | 10,286 | 11,599 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 27,758,771 | 27,761,757 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 11,275 | 9,298 |
| (うち新株予約権(株)) | (11,275) | (9,298) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めなか った潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象)

(共通支配下の取引等)

(当社連結子会社間の会社分割)

当社は、2024年10月1日開催の取締役会において、2025年4月1日を効力発生日として、連結子会社であるサコス株式会社（以下、「サコス」といいます。）の建設機械レンタル事業を、同じく連結子会社である西尾レントオール株式会社（以下、「西尾レントオール」といいます。）へ承継する吸収分割（以下、「本件分割」といいます。）を実施することを決議し、同日付で西尾レントオールとサコスとの間で吸収分割契約を締結いたしました。

1. 本件分割の目的

当社グループ（当社及び連結子会社）は、経営効率向上を目指し、2023年4月にホールディングス体制に移行いたしました。今般その一環として、当社の主要グループ会社であるサコスの建設機械レンタル事業の大部分を西尾レントオールへ移管し、グループ内の汎用的な建設機械レンタル事業を1本化することを決議いたしました。

今回の事業再編は、特に首都圏市場の強化を目指したものであります。従来両社が役割分担をして対応してまいりましたが、両社の経営資源を融合することにより首都圏市場（東京・神奈川・千葉・埼玉）における売上を2023年9月期末実績500億円から5年後700億円への引き上げを目指します。

また、当社としましては、今後国内の建設機械レンタル市場で持続的な成長を目指すためには、業界再編に対しても対応できるノウハウの蓄積が必要であると考えております。今回のグループ内事業再編を将来的に可能性のある業界再編の実証実験としても位置づけております。

なお、吸収分割会社となるサコスは、一般停電用・非常発電機や鉄道軌陸工事用機械等の特殊機のレンタル事業、仮設・本設電気工事事業、中古機械販売事業等、専門性の高い事業に特化して国内海外で展開してまいります。

2. 本件分割の要旨

西尾レントオール及びサコスは、サコスを吸収分割会社、西尾レントオールを吸収分割承継会社として、サコスの建設機械レンタル事業の大部分を承継いたします。

(1) 本件分割の日程

| | |
|------------|---------------|
| 取締役会決議日 | 2024年10月1日 |
| 吸収分割契約締結日 | 2024年10月1日 |
| 吸収分割の効力発生日 | 2025年4月1日（予定） |

(2) 本件分割の方式

サコスを吸収分割会社とし、西尾レントオールを吸収分割承継会社とする吸収分割により行います。

(3) 本件分割に係る割当ての内容

当社の完全子会社間で行われるため、本件分割に際して株式の割当て、その他対価の交付は行いません。

(4) 本件分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本件分割により増減する資本金等

本件分割による当社の資本金の増減はありません。

(6) 吸収分割承継会社が承継する権利義務

効力発生日における吸収分割会社の建設機械レンタル事業に関する資産、債務その他の権利義務といたします。

(7) 債務履行の見込み

本件分割において、西尾レントオール及びサコスが負担すべき債務については、債務履行の見込みに問題がないと判断しております。

3. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。